

(記入例)

概略仕様書

年 月 日

神谷書房 行

記入または○印をおつけください。本の大きさ、文字の大きさなどは「組見本」を参考にしてください。

〒171-0033 東京都豊島区高田1-6-24
TEL 03(3986)1711☎ FAX 03(3981)0056

①本の題名	日曜随筆	②著者名	高田一郎
③本の内容	短歌・俳句・詩・小説・随筆・社史・写真集・その他()		
④製作部数	300部	⑤予算額	900,000円以内
⑥本の大きさ	B6判・四六判・A5判・B5判・新書判・その他()		
⑦製本の方式	並製本(表紙厚紙) 上製本:背(丸背・角背)、資材(布・厚紙)		
⑧装丁	・表紙の色:(黒/)色 箔押し:なし・あり(金・銀または 色) ・カバー:なし・あり(2色刷り・カラー) 特殊紙 ・ビニルカバー:なし・あり ・外面:なし・あり(貼り函・機械函)(色)		
⑨用紙の材質と色数	・本 原:上質・コート・特殊紙・その他() (黒/)色刷り・カラー ・口絵・写真:上質・コート・特殊紙・その他() (黒/)色刷り・カラー ・本 文:中質紙・上質紙・色上質紙・書籍用紙・コート紙・アート紙・その他() (黒/)色刷り・カラー		
⑩ページ数の計算	・序文(はしがき):なし・あり 2・目次:なし・あり 1 (3頁) ・本文:短歌・俳句・詩などの場合 まず、全体の行数を数えます(短歌・俳句は首・句数。詩は行数)。次に、1頁に入れる行数を決め、その行数で全体を割ります。出てきた数字を1.2割増し(見出し、改頁などのため)した数が、おおむね全体の頁数を示しています。 小説・随筆などの場合 まず、原稿1行の字数×行数で、原稿1枚の字数を計算し、それに原稿枚数を掛けて全体の字数を出します。次に、1頁に入れる字数(1行字数×行数)を決め、その字数で全体の字数を割ります。出てきた数字を1.2割増しした数が、おおむね全体の頁数です。 本文総頁数(160頁) ・あとがき:なし・あり 2・略歴・奥付:なし・あり 1 (3頁) 合計頁数(166頁)		
本文の文字の大きさ(13級)	1頁の文字数(18行×42字)		
1頁の句・首数()	⑪図版・写真		
	・図版:(2点)	・写真:(2点)	鎌呈のしおり なし・あり
其他のご希望および納品日	原稿渡してから2ヶ月後 年 月 日納品希望		
お名前	ご住所 〒		
	TEL	FAX	

●概略仕様書記入例

○本の大きさ

本の1ページの大きさは次のようになっています。

B6判 (128×182mm)

四六判 (127×188mm)

A5判 (148×210mm)

B5判 (182×257mm)

新書判 (103×182mm)

これらは本文の大きさで、上製本の場合は、表紙の寸法が天地が約6mm、左右が3~5mmほど大きくなります。

○文字の大きさ

組み見本から選んでください。

●製本のいろいろ

●並製本

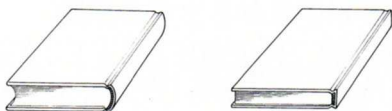


おかしわ

がんだれ

中とじ

●上製本



丸背・みぞつき

角背・みぞつき

●本の各部の呼び方

一般の単行本は、以下のようなつくりになっています。それぞれに名前がついています。

